

第258回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和2年6月8日（月） 11：00～12：20

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸（委員長）
君島 理恵（副委員長）
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

(2) 放送事業者側出席者 佐藤 英雄（常務取締役業務推進本部長）
鈴木 峰雄（参与）
佐藤 望（放送部長）
古寺 雄史（総務部部長代理）

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

今年4月から放送時間を4時間から3時間に変更し、パーソナリティも曜日毎に再編成し、リニューアルスタートした、平日午後の生ワイド番組「BEAT」の水曜日版について、2020年4月から5月にかけての放送回の試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

水曜BEATは、岡田真善と井出文恵のフリーDJ2人のコンビで放送しています。

2人のコンビによる軽快なトークに加えて、音楽情報、スポーツ、トレンド、ニュース、交通、天気などの生活情報、ラジオショッピング等で構成しています。

リスナーターゲットは30代～50代の男女を想定し、リスナーへのメッセージテーマは1週間前から事前に告知し募集しています。

今回の緊急事態宣言を受け、首都圏在住の出演者が出演自粛となつたため、4月8日から岡田がテレビ電話形式で自宅からのリモート出演で放送を行いました。

【 番組の試聴 】

委員：

岡田さん、井出さん、2人ともベテランパーソナリティらしい手慣れた喋りで、声も爽やかで好感がもてる。

委員：

岡田さんは、話のテンポも軽快で、品がある。リモート出演であることを感じさせないくらいに自然なトークが出来ていた。

委員：

スタジオでホストとして進行役をつとめた井出さんだが、たどたどしさを感じる場面が若干あった。前回の審査会では、金曜午後のワイド番組を試聴したが、その番組と比べてしまうと、少し物足りなさを感じてしまった。

委員：

今回、試聴のリモート放送回も、通常の放送回と比べた音質上の違和感はほとんど無かった。むしろ、リポートコーナーの中継音質よりも良好である。

事業者：

リモート放送では、若干の音声遅延が起きたり、ディレクターから出演者への曲間指示が出来ないなどの難があったが、試行錯誤しながら緊急事態宣言下でもそつなく番組を提供することが出来た。

委員：

番組内の各コーナーの中でも、リモート放送であることを逆手にとった「リモートお宝クイズ」は興味関心が沸く、楽しいコーナーだった。コロナ禍の最中だからこそその身近なテーマを番組に盛り込んだことも評価できる。

委員：

番組 AD を登場させてグルメ情報を紹介したコーナー「ウーバートーイ」は、情報不足で説明が足りていなかった。また、コーナーの途中で突然、私的な人生相談をしたことにも違和感があった。

ただ、番組構成上、AD が登場することは効果的で、その滑舌もしっかりとしていて聞きやすかった。人材発掘の場としての出演のようだが、今後の成長に期待したい。

委員：

前回の東京オリンピックからの 57 年間の音楽を 1 年単位で振り返る「ミュージックレガシー」のコーナーは、むしろオリンピックイヤーだけに限定して、その年のオリンピックの結果も含めた回顧録とした方がよいと思う。

委員：

「B・E・A・T」は、今回の改編で午後 4 時スタートになったが、放送してすぐの 10 分後に長尺のラジオショッピングに入り、番組が中断してしまうのは、番組構成として違和感がある。

委員：

1 週間前から事前にテーマを振ることは良い判断だ。新規リスナーを増やすチャンスにもなるだろう。

委員：

ばかばかしいことでも真剣に取り組むことが出来ることは、この放送局が長年培ったスタイルであり、それを貫き通してほしい。

委員：

県域放送局として、栃木県に関連したトーキーを盛り込むことを常に意識していてほしい。

委員：

ラジオ各局が、緊急事態下でも放送番組を守るべく工夫をこらして必死に立ち向かった姿は賞賛に値する。ステイホームの呼びかけの中、ラジオの聴取時間が増えたであろう。

委員：

放送番組を継続するために、これまでのルーティンやルールを劇的に変える必要に迫られたが、この困難は変化のチャンスであったはずだ。

リモート放送であっても、音質、番組内容、ともにクオリティが高かった。緊急事態という難局でも、それに対応する力が示せたことは、放送局として大変意義のあることであろう。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を7月13日（月）とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 6月28日（日）午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし